

PISA2022の日本の結果

3分野全てにおいて 世界トップレベル

1 数学的リテラシー

2 読解力

1 科学的リテラシー

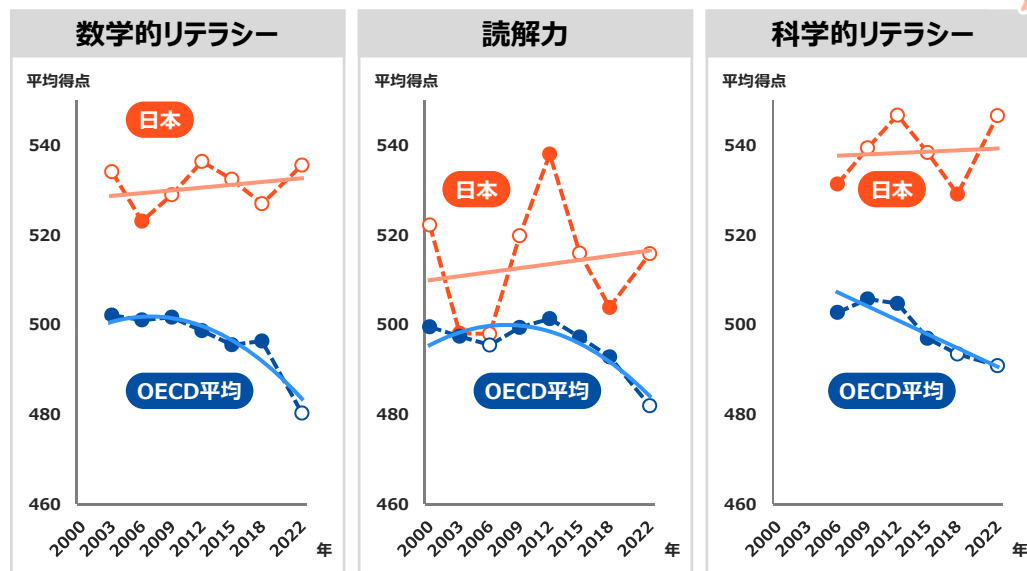
※OECD加盟国中の順位

OECD加盟国（37か国）における比較

	数学的リテラシー	平均得点	読解力	平均得点	科学的リテラシー	平均得点
1	日本	536	アイルランド	516	日本	547
2	韓国	527	日本	516	韓国	528
3	エストニア	510	韓国	515	エストニア	526
4	スイス	508	エストニア	511	カナダ	515
5	カナダ	497	カナダ	507	フィンランド	511
6	オランダ	493	アメリカ	504	オーストラリア	507
7	アイルランド	492	ニュージーランド	501	ニュージーランド	504
8	ベルギー	489	オーストラリア	498	アイルランド	504
9	デンマーク	489	イギリス	494	スイス	503
10	イギリス	489	フィンランド	490	スロベニア	500
	OECD平均	472	OECD平均	476	OECD平均	485

□ は日本の平均得点と統計的な有意差がない国

3分野全てにおいて前回調査より 平均得点が増加



注：白丸はPISA2022年の平均得点を統計的に有意に上回ったり下回ったりしない平均得点を示す

日本の結果のポイント

1 学力格差が小さい

- 社会経済文化的背景(ESCS)の高い層と低い層との間で、**数学的リテラシーの得点差が小さい**。
- ESCSが生徒の得点に影響を及ぼす度合いが低い。

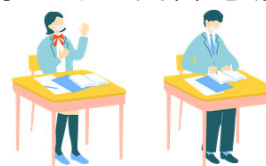


2 低学力層の底上げ

- OECD平均と比べて、**習熟度レベル5以上の高得点層が多く、習熟度レベル1以下の低得点層が少ない**。
- 読解力、科学的リテラシーにおいては、**低得点層（習熟度レベル1以下）の割合が前回調査から有意に減少**。

3 「レジリエント」な教育制度

- 新型コロナウイルス感染症の影響にも対処できるしなやかで**強靱な教育制度**。
- ※OECDは日本の他、韓国、リトアニア、台湾をレジリエントな国・地域と分析。



4 最先端の環境と規律ある授業

- 「**学校でのICTリソースの利用率**」指標はOECD加盟国中**第5位**。
- 「**数学の授業の規律ある雰囲気**」指標はOECD加盟国中**第1位**。
- 日本の生徒は、**授業中のICT機器の利用により、注意散漫になることが少ない**。